

第15回多摩川一斉水質調査結果報告(速報)



当フォーラム会員家族と平岡副会長(写真右)
(調査地点15番・釜の淵公園<鮎美橋下>にて)

美しい多摩川フォーラムでは、2022年6月5日(日)、3年ぶりに参加者を募集して「第15回多摩川一斉水質調査」を実施しました(2020年度、2021年度は渡邊環境清流部会長と当フォーラム事務局のみで実施)。

調査地点は多摩川の源流域(丹波山村・小菅村)から下流域(川崎市)までの本・支川32ヵ所で、簡易調査キットを使い、COD値(化学的酸素要求量の略:有機物による水質汚染の程度を示す指標で、水が有機物で汚れていると数値が高くなる)を調査しました。また、COD調査に続いて、連携先の市民グループが中心となり、水中の無機イオンの総量を示す電気伝導率(EC)およびアユの餌となる珪藻(ケイソウ)を構成しているケイ酸を調べるため、溶存ケイ酸(一般的にはSiO₂と表示。測定はモリブデン青吸光光度法)を調査しました。

当日は、フォーラム会員(採水班・調査班)ほか外部連携先を含め総勢46名にご協力いただき、無事水質調査を終了することが出来ました。最終的な調査結果(確報)は現在集計中ですが、例年どおり11月に公表する予定です。

調査当日の様様



朝8時頃の調査地点15番・釜の淵公園(鮎美橋下)。
あいにく、どんよりした曇り空でした。



平岡副会長が多摩川の水で
採水ボトルの共洗いをおこないます。



続いて、採水地点の水温や気温を測ります。



参加者みんなで協力して安全に採水をおこないました。



こちらは調査会場の青梅信用金庫本店。



採水者は受付で採水した水と調査票を提出します。



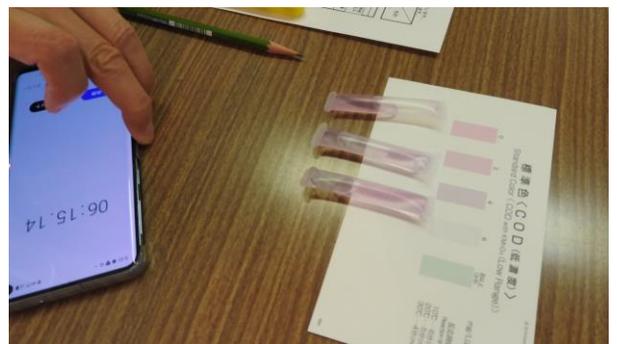
各地で採水された水がずらっと並びました。



次に、採水された水のCOD値を測ります。



親子でCOD値の測定にチャレンジ！

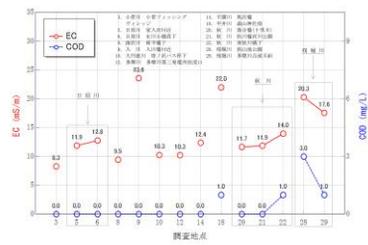


時間を計りながら試薬の色の変化を確認し、1地点につき合計3回のCOD値を測定します。

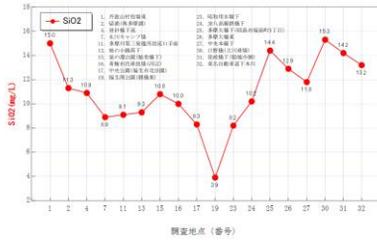
3. 第15回多摩川一斉水質調査結果(速報・32地点)グラフ



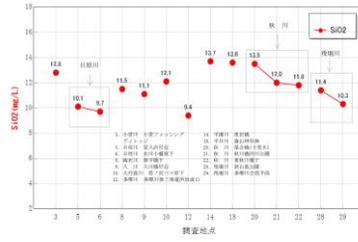
多摩川本川のEC・COD



多摩川支川のEC・COD



多摩川本川のSiO2



多摩川支川のSiO2

グラフをクリックすると拡大したグラフがご覧いただけます。

【参考】水質調査等の方法

水質調査の方法については、[こちら](#)をご覧ください。